(様式4)

発見されたことについて

担当課: 教育委員会 文化財保護課 埋蔵文化財担当 (電話:083-920-4111)

■概要

山口大学と協働で実施した平安時代の銭貨鋳造所(せんかちゅうぞうしょ)である「史跡周防鋳銭司跡(しせきすおうのじゅぜんじあと)」の第4次調査(平成30年度)において採取した土壌を、水洗選別し発見した銭貨片2点が、「承和昌宝(じょうわしょうほう)」銭(835年初鋳)であること、つくる過程で失敗した「鋳損じ(いそんじ)銭」であることが判明しました。

また、今年度実施中の第6次調査において、周防鋳銭司跡では初めての大型建物跡1棟を発見しました。

1. 新たな銭種「承和昌宝」銭について

- 生産時期:承和2年(835年)~嘉祥(かしょう)元年(848年)
- ・1点目:最大幅11.2mm、最大長18.8mm、厚さ1.3mm
- 2点目:最大幅8.0m、最大長13.1m、厚さ1.0m
- ・発見の経過

平成30年度、第4次調査において土器集積2(土器が集中して出土した遺構)の土壌を採取。

- →令和元年11月~12月、土壌を水洗選別し、2点の銭貨片を発見。
- →令和2年2月12日・13日、銭貨片の詳細調査(拓本調査)により、「承和昌宝」銭の可能性が高まる。
- →令和2年7月、X線CT撮影により、新たな銭種「承和昌宝」銭の 鋳損じ銭であることが確定。

2点とも、外縁に鋳バリ (いばり) が確認できることから、完成品ではなく、鋳造に失敗した「鋳損じ銭」です。

2. 大型建物跡について

• 規模

南北6間以上×東西2間の掘立柱建物跡。直径1.0m、深さ60cmの柱穴が3.0m間隔で並ぶ。平面規模は南北18m以上×東西6mで、建物面積は108m以上である。建物の南端は明らかですが、北側は柱穴がさらに続くことから、建物は今回の調査区よりもさらに北側に広がると考えられます。

• 構造

この建物の東側と西側には、規模が小さい柱穴(直径 6~0~cm、深さ 6~0~cm)が 3.~0~m間隔に見つかっており、大型建物と一体をなす可能性があります。その場合、建物本体(身舎 (5+2))に廂 (0+2))が付く構造となります。その場合の建物規模は、南北 1~8~m以上×東西 1~2~mで、面積 2~1~6~m以上となります。

・発見の経過

第4次調査(平成30年度)において、大型柱穴を複数個確認。

→第6次調査において、これらの大型柱穴が大型建物として復元できることを確認。

大型建物跡の一部は、第4次調査で見つかっていましたが、その時点では建物となるかは不明でした。今回、第4次調査の一部を含め、建物跡が想定される範囲に調査区を設定し、上記の発見となりました。

3. 発見の意義

【新たな銭種「承和昌宝」銭】

- ①文献史料によれば、周防鋳銭司は、皇朝十二銭のうち「富寿神宝(& じゅしんぽう)」銭から「乾元大宝(けんげんたいほう)」銭まで生産していたとされていますが、史跡内ではこれまで、「長年大宝(ちょうねんたいほう)」銭しか出土していませんでした。今回新たに「承和昌宝」銭が確認されたことにより、考古資料からも、史跡内で複数の銭貨を生産していたことが実証されました。
- ②鋳損じた「承和昌宝」銭が遺跡から出土したのは、全国初のことで、 平安時代の銭貨生産技術を明らかにする上で、重要な発見です。

【大型建物跡】

- ①史跡内では、第2次調査(昭和47年度)で建物跡がいくつか確認されていますが、今回のような、大型柱穴が3.0m間隔(10尺)で、規則正しく並ぶ大型建物が発見されるのは初めてのことで、周防鋳銭司が官営の銭貨鋳造所であることの一端を示す重要な遺構です。
- ②これまでの調査状況から周辺には、この大型建物以外にも建物が複数存在する可能性があり、今後の調査により、銭貨鋳造工房以外の諸施設(倉庫・管理棟・工人の宿舎など)が明らかになることで、周防鋳銭司の実態解明が進むことが期待されます。

③今回の調査により、史跡南東部の時期的変遷として、第1段階:銭 貨鋳造工房、第2段階:工房以外の施設、となる可能性が高く、史 跡内の空間利用が時期によって異なっていたと考えられます。

4. 今後の予定

- (1) 6次調査に関する現地説明会:
 - 11月1日(日)①10時30分~11時30分
 - ②13時30分~14時30分

(①、②ともに同じ内容)

(2) 「承和昌宝」銭の特別展示:

現地説明会会場 11月1日(日)

鋳銭司郷土館 11月3日(火)~11月29日(日)

(3) 「承和昌宝」銭の詳細調査:

山口大学と連携し、国立歴史民俗博物館の協力を得て、鉛同位体比分析を実施します。

※用語解説

鋳バリ・・・鋳型同士の隙間に溶銅が入り、固まった余分な出っ張り。